

## 第 10 回彩都東部地区検討会 議事録

- と き：平成 25 年 3 月 26 日（火）午後 4 時～午後 6 時
- ところ：千里ライフサイエンスセンタービル 5F 501 号室
- 出席者：竹内理事（大阪府）、板田理事（茨木市）、瀬渡部長（（独）都市再生機構）、  
松本部長（阪急不動産株）、北見室長（代：三井物産株）、圓城部長（関電不動産株）  
事務局：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

### 【議事概要】

#### ○資料 1 について、事務局より前回からの変更点を説明

- ・アンケート調査「東部地区への新規立地の可能性」の企業数をわかりやすく明記（7 ページ）
- ・「都市機能の 7 つのキーワード」及び「まちづくりの方向性」について考え方を追記（8 ページ）
- ・「土地利用の考え方」を整理し修正（12 ページ）
- ・事業協力者の説明をわかりやすく着色し表示（13 ページ）
- ・「東部地区に期待されるまちづくりの考え方」及び「開発の考え方」を整理し修正（14 ページ）

#### ○資料 1 について、下記の意見があった

- 5 ページ、12 ページの周辺状況図にて、安威川ダムを（計画）から（事業中）に修正のこと
- 14 ページ左上「東部地区に期待されるまちづくりの考え方」のうち、下 2 項目については「開発整備の考え方」と同様の内容なので、「開発整備の考え方」にまとめた方がよい

#### ○資料 2 「パンフレット」、資料 3 「事業化に向けて（案）」について事務局より説明

- ・「パンフレット」は、今後の企業誘致や事業協力者探しに向け活用していく
- ・「事業化に向けて（案）」は、民間企業が事業化検討に向けての留意事項を整理したものであり、もともとの「事業化検討案」という名称から変更したことを説明

#### ○資料 2 「パンフレット」、資料 3 「事業化に向けて（案）」について下記の意見があった。

- パンフレットの表紙については、彩都の立地特性である国土軸を強調するなど、一目見て企業担当者を惹きつけるような工夫が必要である
- 「事業化に向けて（案）」は、事業化検討にあたっての基礎的情報をまとめたものであるが、個別に民間企業と具体的な交渉段階では、より詳細な情報提供を考慮しておく必要がある
- インフラ整備の考え方（9 ページ）が 1 枚に整理されているが、インフラ整備は大きな課題であり、上水道、下水道（汚水、雨水）毎に分けて見やすく記載したほうが理解しやすい
- 同じく、インフラ整備関連については補強した資料の作成を願う。また、道路についての記載も必要ではないか。段階整備を行うにしてもまず道路の考え方が必要である
- 全体の展開（10 ページ）は、現道等からの展開として、矢印で展開イメージを示しているが、既存道路をしっかりと明示し道路名称を入れるなど、わかりやすい標記が必要である

●次回検討会：4 月 26 日（金）16:00～ 彩都建設推進協議会